

世界の中古医療機器市場

世界の**中古医療機器市場**としては**米国が大きい**とされ、かつ米国では自国製の中古品の再生の仕組みが整備されてきている。中古医療機器のグローバル代理店は米国のほか、オーストラリア、欧州で拠点を構え、さらに再生中古医療機器が全世界に流通させる形態も認められる。そのため、中古医療機器の最終消費国は、完全に把握されにくいのが現状である。これらの国においては日本製中古機器の輸入はそれほど盛んではない。ただし、CTや内視鏡については日本製が強く、実際に米国向け等に輸出されている。

複数の中古ディーラーの話によると、**日本からの輸出先として取引が増えているのがインド**である。インドは後述する通り**中古医療機器の輸入規制が少ない**数少ない国の一つで、**潜在的な市場も大きい**。今後の経済成長、国家予算からの支出増加による医療インフラ整備が伸びると想定され、中古医療機器に対する需要はますます高まるものと予想される。インド以外では、ロシア、韓国等も輸出先として有望である。なお、人口最大国の中国は、基本的には中古医療機器の輸入が認められていない。

主要な**輸出製品**のほとんどは**診断系医療機器**である。具体的には**超音波診断装置や内視鏡**が多い。また、金額的には**CTの販売も増加**している。